
confession

雪花未来

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

confession

【ZPDF】

Z0162A

【作者名】

雪花未来

【あらすじ】

それから、数日後…。私は不二ファンクラブとかなんかのファンに虜めに遭い始めた。最初は言おうかなって思つてたけれど、考えるにつれて迷惑を掛けると思つちゃって言えなかつた。

どうしても言えない『好き』といつ言葉。

『好き』だけ伝えられない傷付きたくないから…。

この前、私の友達が不二君に告白して、見事に断られた。そして、私は今日見てしまった。見たくない光景を…。

「私、不二君の事が好きなの！」

「御免。僕好きな人が居るんだ」

え？

私はその場から、必死で逃げた。まるで、告白していないのに私の気持ちを否定された気分で、その場に居られなくなつたから…。走っている間に私は泣いていたらしく、屋上についた時には頬を伝つて涙が零れ落ちてきていた。

「好きな人がいるんだ…不二君。」

ちつちやな声でそう呟くと、また涙が零れてきた。

諦めよう。

そう心に決めた。

でも、一週間経つても忘れられなかつた。

だからいい加減に私は覚悟を決めて、ダメもとで告白してきつちり言われようと決めた。

「不一君。ちょっと大切な話があるの…」

「いつになく真剣な表情の私に、不一君は言った。

「僕も…君に言いたいことがあるんだ」
どうして私なんかに言いたいことがあるのかわからなかつたけれど、
どうせすぐにわかることなので
敢えてそこは聞かなかつた。

私が告白するために選んだ場所は屋上…。

何故かこの時間帯だと誰もいない。だから、私はここにしたのだ。

そして、いよいよ2人つきりになつて…私の一番のがんばり所…。

「大切な話つて…何？」

「わ、私…」

断られるのもわかつていてるのに告白するなんて、今更になつてから
だけど馬鹿だつて思う。でも、嫌でもこうしなくちゃあ諦められな
いのだから仕方がないのだ。ここは当たつて砕ける。

「私、不一君の事がずっと好きだつたの！」

「僕もだよ…」

「え？」

「好きな人がいるんだ」という断る言葉ではなく、私に返つてきた
言葉は「僕もだよ」という言葉で、私は少しの間放心状態になつた。
あまりにも予想外の言葉で…。

といふか「不一君も私の事を好いてくれてたんだ」つて思つたら、
思わず涙が零れ落ちた。

「どうしたの？もしかして、僕何かひどい事しちゃった！？」
少し焦ったかのよくな声で、私に言った不二君に私は泣きながら答えた。

「ううん。違うの…嬉しくて……」

私が涙を拭いながら不二君に言つと、不二君は私を抱き締めた。
「僕だつて、思つてなかつた。君が僕の事が好きだつたなんて…でも、言うなら僕から言わせてほしかつたな 女の子から言われて付き合つなんて少し恥ずかしいじやない（笑）だから、僕から言わせてね？」

「うん」

不二君のぬくもりが気持ちよくて、このままずっと抱いていてもらいたかつた。

「僕と、お付き合いしてもらえないかな？」

「はい」

その後、私と不二君はキスを交わして、お付き合いが始まつた。
そして、その代わりに私は不二好きの友達に怨まれると思つ。でも、私はそんな事構わない…お互いに好きな人と付き合つことが出来たのだから…。

たつた一つの勇気を出して気持ちを伝えるだけで、相手に気持ちが伝わつて相手の気持ちがわかつて…。
勿論、その時に断られた私の友達はひどく心が痛んだのだろう。
でも、その友達を好いているという子も必ずいるのだと…。
私は思つた…。

f
i
n
.

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0162a/>

confession

2010年10月28日04時53分発行